

様式第2号（第8号関係）

会議録

- 1 会議の名称 令和7年度 第1回 川根本町地域公共交通会議
- 2 会議日時 令和7年7月15日（火）午後2時から午後3時30分まで
- 3 開催場所 川根本町山村開発センター 大会議室
- 4 出席したものの氏名
 - (1) 委員 藪田靖邦会長、
八木雅子委員、櫻井和美委員、北島修委員（代理）、山本あす香委員（代理）、伊藤和則委員、芹澤健一委員、前田修児委員、大村富子委員、中村玲子委員、平口慶喜委員、藪下和英委員、諸田強委員、石川良文委員、澤口誠一郎委員、坂下誠委員、竹野克彦委員、神谷毅委員、柴亨委員
 - (2) 執行機関
(事務局) 暮らし環境課 課長 風間一章、室長 山本雅俊、主査 唐沢壮
高齢者福祉課 主事 荒間大地
株KCS 城平徹、五十嵐裕音
- 5 次第
 - (1) 開会
 - (2) 町長あいさつ
 - (3) 報告事項
 - ① 公共交通の現状について
 - ② 市町自主運行利用実績について
 - (4) 協議事項
 - ① 地域公共交通計画素案について
 - ② ハッピーライド in しずおかプロジェクトについて
- 6 会議資料の名称
 - ・ 次第
 - ・ 令和7年度 第1回川根本町地域公共交通会議 出席者名簿
 - ・ 資料1 公共交通の現状について
 - ・ 資料2 市町自主運行利用実績について
 - ・ 資料3 公共交通計画素案について
 - ・ 資料4 コミュニティバス路線における「ハッピーライドinしずおかプロジェクト（小学生バス無料デー）」の実施について

7 発言の内容

【町長あいさつ】

令和10年度中の復旧を目指し、大井川鐵道が工事を進めていく。当町の公共交通において、大井川鐵道復旧後のあり方を検討していくことは重要であると考えている。また、復旧後も大井川鐵道を存続させることが使命と考えており、町民の安心・安全や観光客の移動手段の確保のため、町の公共交通のあり方を検討していくことは重要であると考えている。本日は、昨年度から議論してきた公共交通計画について協議を行うため、委員の皆様には、忌憚のない意見をいただきたい。

【報告事項】

①公共交通の現状について

②市町自主運行利用実績について

(委員)

1日フリー乗車券について、販売枚数の増加に対して、収入額がそれほど増加していないのはなぜか。

(事務局)

昨年度の1日フリー乗車券の販売枚数のうち、52%を障がいのある方に対して販売した。障がいのある方は1枚あたり100円で購入することができることから、販売枚数に対してそれほど収入額が増加しなかった。

(委員)

福祉有償運送について、令和2年度から利用者数が減少した要因は。

(事務局)

第一に外出支援サービスを利用する透析患者数の減少である。第二に、町内利用者については、利用料がより安価なデマンドタクシーの利用を勧めていることから、利用者数が減少している。

(委員)

外出支援サービスの利用者数は年々減少している。これは利用条件が厳しいためではないか。

(事務局)

利用者数の減少については、先ほど申し上げた理由に加え、町の人口減少による母数の減少が考えられる。外出支援サービスは福祉有償運送であり、身体に不自由のある方を対象としているため、利用要件が厳しいとは特段考えていない。

【協議事項】

①地域公共交通計画素案について

(委員)

10P計画目標②について、町営バス利用者数とあるが、どの路線を指しているか。23Pについて、観光来訪者をメインターゲットとする、とあるが観光来訪者に対しては、どのように情報発信を行うのか。

(事務局)

計画目標②の町営バス利用者とは、町内のみ運行する寸又峡線利用者のうち、町民利用者を指す。

観光来訪者に対しては、若年層同様、SNSを活用した情報発信を行う。

(委員)

10Pについて、現在の記載ではわかりにくいため路線名を追記するなど、修正する必要がある。また、「町内交通の利用者数（便あたり）」とあるが、これは便あたりの利用者数ではなく、年間の利用者数ではないか。

(事務局)

指摘いただいた個所について修正する。

(委員)

寸又峡線について、町民利用者数を計画目標②で、観光客の利用者数を計画目標④で記載しているということか。

(事務局)

お見込みのとおり。

(委員)

計画を読み、課題が多岐にわたると感じた。これらの課題解決には、多額の財源を要すると思うが、町で負担することは可能か。

(会長)

ライドシェア等の新たな公共交通の導入も踏まえて、国や県の補助金等を活用しながら、財源構成を検討していきたい。

(委員)

10Pの各計画目標の町営バスの記載について、路線名を記載してはどうか。

本計画の今後のスケジュールを教えてください。

(事務局)

10Pの記載については、わかりやすい記載へ修正する。

スケジュールについては、7月下旬から8月下旬にかけてパブリックコメントを実施し、9月にパブリックコメントの結果を計画へ反映し、10月に計画策定する予定。

(委員)

10月に再度、本計画について協議を行うということか。

(事務局)

パブリックコメントの実施結果を踏まえて、必要に応じて実施する。完成した時点で委員の皆様にお示しする。

(委員)

本計画は令和8年度からの計画か。

(事務局)

お見込みのとおり、令和8年4月からの計画である。

(委員)

大井川鐵道は町民の関心が高いと考えている。本計画の中で、復旧時期について町民に周知とあるが、復旧時期とはどのタイミングで周知を行う予定か。

また、「大井川鐵道の便利な使い方」とは何か。

(事務局)

この「復旧時期」とは復旧の目途が立った時期を想定している。

大井川鐵道の便利な使い方とは、今後、新たな公共交通の導入等により、公共交通が複雑化した際、大井川鐵道の利用者が「目的地へ行くために、どの交通手段を利用するのが最適か」といったことを整理する、という意味合いである。

(委員)

10Pの計画目標③の関係者会議の開催回数を年間5回としたのは、どのような考え方によるものか。

(事務局)

本会議のような会議を年1回開催することを目標に設定した。

(委員)

市町の関係者会議は一般的には、年3回である。5年間で5回という目標は、目標設定として反対である。この目標は変えるべき。

(事務局)

いただいた意見を踏まえて、修正する。

②ハッピーライドinしずおかプロジェクトについて

(委員)

意見・質問等なし。

【その他意見等】

(委員)

意見・質問等なし。

上記に相違ないことを確認する。

川根本町地域公共交通会議 会長 藺田靖邦